

Photo

島根半島の海岸に生息する甲虫類 (6) ウミベアカバハネカクシ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

ウミベアカバハネカクシ *Phucobius simulator* Sharp は, 体長 10.5-12.0 mm ほどのハネカクシ科に属する海岸性甲虫で, 北海道から九州まで広く分布している (柴田, 1985, 1993). 島根半島の海岸でも多い種であるが, 塩分濃度が低い汽水湖の宍道湖岸に分布し, 斐伊川河口の砂浜にも生息している (河上・林, 2007).



写真 宍道湖岸の砂浜に生息するウミベアカバハネカクシ

2006 年 7 月 21 日 15 時 51 分, 出雲市園町沖ノ島の宍道湖岸にて撮影. 湖岸に漂着したヨシの茎や水草の下に潜んでいた. 砂浜に生息する海岸性ハネカクシの多くは海藻下にいることが多いが, 本種は漂着ヨシなど河川から運ばれてくるゴミの下に多い.

[文献] 河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10). 印刷中.

柴田泰利 (1985) ハネカクシ亜科. 上野俊一ほか編「原色日本甲虫図鑑 II」: 290-310, pl. 51-54. 保育社.

柴田泰利 (1993) 海浜のハネカクシ. 昆虫と自然, 28(11): 23-27.